

第38号  
2019年5月

# 高梁市議会だより

富家小学校入学式



特集

平成31年度予算審議



# 平成31年度予算審議

平成31年3月6日から25日まで、第1回高梁市議会定例会が開催されました。今回の定例会では、主に平成31年度の予算が審議されました。定例会には58議案と2つの請願が提出され、議案は全て可決・適任、請願は不採択とされました。この特集では、「平成31年度一般会計予算」をはじめとした主な質疑についてお知らせします。

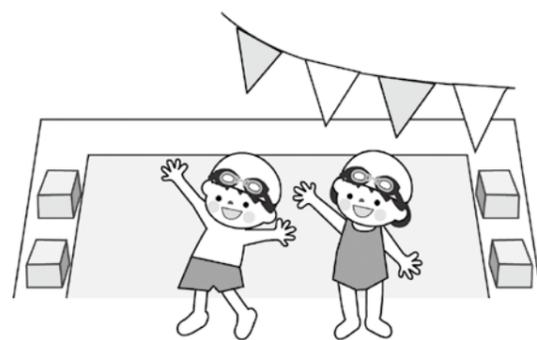
## 「平成31年度一般会計予算」

平成31年度の高梁市一般会計予算は、過去最大となる263億9000万円となりました。これは平成30年7月豪雨災害をはじめとする災害に対する復旧・復興のための予算が多く計上されているためです。議案質疑では消費税増税に関連して、市民への負担増となることを考慮して反対するといった意見がありました。賛成多数で可決されました。

### 市民プール使用料

**Q** 高梁市民プールの使用料が計上されているが、復旧はどのようになっているのか。

**A** 4月から工事に入り6月中旬に完成予定である。ききよう緑地の災害ゴミの処理状況によりプールの開場を判断していきたい。



### 文化センター費

**Q** 高梁総合文化会館と高梁市文化交流館の指定管理に向けた取り組みについては、どのような状況になっているのか。

**A** 平成31年度を目的に取り組み予定だったが、7月豪雨の影響で避難場所になった関係で取り組みが遅れている。平成31年度中に条例を改正し、業者の公募を行ない、平成32年度に文化センターの指定管理を実施する方向で進めていきたい。

### ふるさと応援寄付金について

**Q** ふるさと納税について専門業者に外部委託することだが、その理由と内容について説明を求めます。

**A** 昨年は梁クラスに委託していたが、数が増えて事務が煩雑になり対応が困難になってきた。専門業者に任せることで特産品を開発することが可能で、幅広く寄付金を集めることができ、また配送も効率的にできてクレームにも対応できることから、今回予算を増額して対応していきたい。

### 島木川内水排除整備工事費

**Q** 成羽町新張地区の内水排除ポンプ付け替え工事の進捗状況は。

**A** ポンプ本体はオーバーホールでの継続使用を考え、駆動エンジンを新規付け替える。工事完了までの期間は従前のポンプが可動するように、毎月点検を行う予定である。



可動式ポンプ

### 排水ポンプ購入費

**Q** 可動式の排水ポンプを2台購入することだが、かなりの重量だと思ふ。持ち運びできるのか。また、どこに配置するのか。

**A** 今回購入を予定しているのは可動式の排水ポンプで、内水排除施設のある成羽町と備中町に配置する。1台約200キロとかなり重い。市職員と消防団と地域住民の協力で運用していきたい。



高梁市文化交流館



高梁総合文化会館

清掃総務費

清掃総務費の負担金では、有漢地域に地域課題プロジェクトとして給食センターに「生ごみ処理機」を設置し、たい肥化を進め、ごみの減量化を行う。周辺住民の生ゴミ持ち込みもすすめ、調査研究をしていく。

土木費

道路橋梁総務費で岡山自動車道の4車線化に関連する予算が計上されているが、工事の進捗状況はどのようなになっているのか。

A NEXCO西日本が順次発注している状況で、3月末からトンネル工事に着手する。6月には工事に伴い発生する土砂の量がこれまでで最大となる見込みである。そのため、現在土砂受入を行っている盛土場を含み、10か所の盛土場を準備して対応している。

地域振興費

Q 地域振興費の報償費については、地域おこし協力隊員2名分で1000万円は多いのではないかと。

A 報償費の中には5名分の隊員の1年間の報償も入っている。新規の2名募集は地域担当や起業型でなく、新たに課題解決型（観光対策と空き家対策）で予定している。

観光費

Q 登城バスなどでさまざまな補助金が出ているが、運営上の不備も聞いている。今後観光の中で備中松山城をどう位置付けしていくのか。

A 備中松山城については、現存12天守唯一の山城ということで、世界的にも通用する資源として、国内だけでなくインバウンド向けにも発信していきたいと思っている。



備中松山城



岡山自動車道付加車線設置工事（高梁市有漢町地内）

その他の議案

今議会には、ほかに平成30年度最後の補正予算、指定管理者の指定に関する議案、法律の改正に伴う条例の改正などの議案が提出されました。

平成30年度高梁市一般会計補正予算

Q 農地などの災害復旧の進捗状況は。

A 早期の対応を目指している。本年度の作付けを休むという了解が取れた場合に関しては、工事を早めるなどの措置を取る。作付けをする場合には年明けの工事になる。

Q 災害後、職員の健康管理及びそのケアはどうなっているのか。

A 産業経済部に限らず、人事担当の方で対策を講じていく必要があると感じている。

備中宇治彩りの山里リゾート施設の指定管理者の指定について

Q 塩田焼工房等の施設の利用が中止されたままだが、今後の利用についてどのように考えているか。

A 焼き物体験で収益を上げるのが困難なため利用を中止している。

観光駐車場等の指定管理の状況について

Q 現在テナントがない状態になっている。テナントの選定は指定管理者の高梁市観光協会に一任されている。市の観光の顔とも言える場所での休業状態が続くことは望ましくない。市の指導が必要ではないか。

A これまでにもいろいろな問い合わせがあるが、成立していない。引き続き事業者の方や希望のある方と話をしたいと思っている。商工会、商工会議所、観光協会からも情報をいただきつつ考えていきたい。



観光駐車場内の空き店舗



休止中の塩田焼工房

！ 一般会計予算に反対

議案第41号「平成31年度高梁市一般会計予算」について、10

月から消費税が導入されるのに伴い、学校給食費が値上げされるが、むしろ食育の観点から無料化を検討すべきである。また水道料金は増税分の値上げになるが、水道は暮らしに直結するものなので引き上げに反対する。



高梁市図書館の1億6000万円の指定管理料については、図書館は教育施設であり、直営を求める立場から反対する。また指定管理者であるCCCは、

Tポイントカードの個人情報情報裁判所の令状もない中で警察に渡すなどしており、指定管理者としてもふさわしくない。

また順正学園吉備国際大学に優先的に1億円の支援金が毎年計上されており、市民生活を応援する立場から、偏重した支出と考える。

議案第42号「平成31年度高梁市国民健康保険特別会計」について、新年度予算では国民健康保険は現状維持とされた。国民健康保険制度は行き詰まり、全国知事会でも国費投入を求めている。市民負担は現状維持という事で反対はしないが、高すぎる国民健康保険税は受診抑制による重症化や、支払うことができない加入者が増加させることにつながるのではないかと、市民負担の引き下げのために頑張ってもらいたい。

請願第1号「後期高齢者の

窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」請願書」について。総務省の家計調査によると、高齢者無職世帯の1カ月の家計は5万円の不足で貯蓄から取り崩す生活である。年金の引き下げや消費税増税のため大変であり窓口負担を2割とすることがないよう願う。

請願第2号「種子法廃止に伴い岡山県の取組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める請願書」について、種子法の廃止により種子の安定的供給が損なわれるので、公共品種を民間に委ねず厳重な管理体制を設ける等県条例の制定を求める。

(石部 誠議員)

！ 一般会計予算に賛成

議案第27号「平成30年度高梁市一般会計補正予算(第6号)」について、事業費の確定による21億円余の減額となっているが、昨年の7月豪雨災害の影響により、見直しや延期された事業について再検討が必要と考える。また継続費補正として島木川内水排除整備事業があるが、防災減災の意味からも豪雨災害の浸水箇所の内水排除の調査・研究・対策を期待する。



島木川内水排除設備

議案第41号「平成31年度高梁市一般会計予算」について、災害からの復旧・復興に重点配分するとの説明があった。異論を唱えるものではないが、国からの交付税の縮減などで、本市の財政運営は厳しい状況にある。重点施策への予算配分は重要でシビアな問題であるが、将来への投資になる子育てや教育が最も重要と考えるので、重点配分をお願いする。

請願第1号「後期高齢者の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」請願書」について。高齢者の医療費の窓口負担が1割から2割になるだけならば問題であるが、国の医療制度を維持するには構造の体質改善、受診行動の適正化や給付内容の見直しも必要である。負担だけを問題とするこの請願には賛同できない。

請願第2号「種子法廃止に伴い岡山県の取組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める請願書」について、種子法は昭和27年、食糧難だった時代に制定され、平成30年4月1日をもって廃止された。一部企業や民間による種子の私有化や品種の独占などが指摘されるが、種

苗法や食品衛生法の規制もある。県でも要綱が決められているので不採択すべきと考える。

(伊藤泰樹議員)

3月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

件名	伊藤	森	平松	森上	三村	黒川	石田	石部	石井	内田	宮田	森田	倉野	川上	宮田	川上	大月
平成31年度高梁市一般会計予算	○	○	●	○	○	○	○	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
「後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」請願書	●	●	○	○	●	●	○	○	●	欠	●	●	●	●	●	●	●
種子法廃止に伴い岡山県の取組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める請願書	●	●	○	○	●	●	○	○	●	欠	○	●	●	●	●	●	●

※議長は採決に加わりません。  
◎他の議案は全会一致で可決しました。

議会ICT化推進特別委員会を設置しました

議会のICT化推進に関する調査研究を行うため、議会ICT化推進特別委員会を設置しました。

今後、議場へのIT機器持ち込みや、IT機器の活用について話し合います。

- 委員長 川上 博司  
副委員長 森上 昌生  
委員 大月 健一  
宮田 公人  
石田 芳生  
石井 聡美



新しい地域公共交通網形成計画の策定はどのように進めるのか



宮田 好夫 議員
答弁: 住民の皆さんと密接に関係しながら作り上げたい
・災害・防災対策について
・消費税増税について
・幼児教育の無償化について
・町内会支援事業について
・地域公共交通網形成計画について

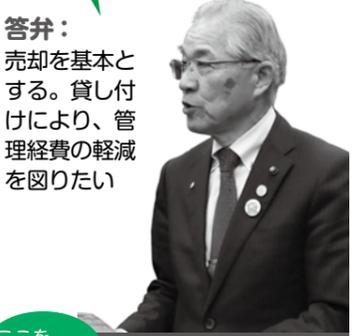
ケーブルテレビネットワーク光化促進事業について

宮田 災害時などに確実かつ安定した情報伝達を確保するために、ケーブルテレビネットワークの光化を推進するとある。災害時の情報伝達手段として指定避難所にケーブルテレビを設置すべきではないか。
総務部長 現在、避難所についても検証作業を進めていて、どこへテレビをつけていけばいいのかもあわせて考えていきたい。
市長 平成32年の改定に向け、アンケート調査や聞き取り調査、地域での説明会などで意見を聞きながら行いたい。
宮田 市民がどこに住もうとも公共交通は確保され、安心して暮らせる施策を展開すべきであるがどうか。
市長 外出機会を確保することも公共交通の使命だと考える。バス事業者やタクシー事業者の方々の協力をいただきながら、市全体の公共交通網を考えていく。

地域公共交通網形成計画について

宮田 新しい計画を作る予算が組まれている。どのように進めて行くのか。

財政健全化に向け、有休市有財産の利活用を考えるべき



森田 仲一 議員
答弁: 売却を基本とする。貸し付けにより、管理経費の軽減を図りたい
・遊休公共施設および公共財産の有効活用について
・農業振興について

被災後の財政健全化について

森田 遊休化している施設および土地の活用を考えるべきでは。
総務部長 遊休財産においては、一般財源の負担を軽くするために売却を基本とするが、貸し付けをすることにより管理経費の軽減を図っていききたい。
森田 大多数を占める小規模農家を守ることにより地域活力の増進と国土保全につながる。高齡、小規模農家の振興策と6次産業化に向けた考え方はどうか。

小規模農家の振興策について

森田 大多数を占める小規模農家を守ることにより地域活力の増進と国土保全につながる。高齡、小規模農家の振興策と6次産業化に向けた考え方はどうか。
市長 国の国土強靱化計画の内容を見据える中で対応していく。
産業経済部長 6次産業化については、活性化に向けて有効と考えている。行政としてできる支援は引き続き対応していく。加工施設は、今後の検討課題である。

産業経済部長 市有林については、主伐売却や収入間伐での売却収入を見込んでいる。財産区については、保安林等で活用が難しい

トイドローンはこの学校で使用するのか



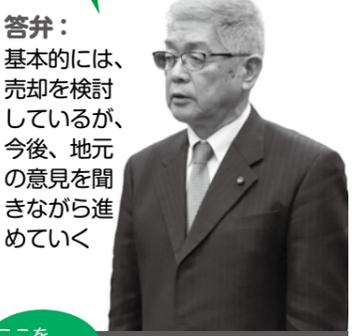
石井 聡美 議員
答弁: これから校長会などと相談して決める
・STEAM教育について
・ペットについて

新学習指導要領への対応について

石井 2020年から始まる新学習指導要領で、小学生のプログラミング教育が必修化されるが、対応は進んでいるのか。
教育長 プログラミング教育を含めたICTの研究を、平成29年度、30年度に3校で実施している。30年度には全ての学校でWi-Fi環境を整え、来年度にはタブレットや電子黒板をおおむね全校に配置できる。創造的な学習のきっかけづくりとしてトイドローンを使ったプログラミング学習にも取り組む。



下原の旧鶴鳴保育園跡地を、公園として活用してはどうか



黒川 康司 議員
答弁: 基本的には、売却を検討しているが、今後、地元の見解を聞きながら進めていく
・養護老人ホーム成羽長寿園・成羽こども園整備に伴う旧施設の跡地活用について
・旧鶴鳴保育園駐車場への旧成羽美術館顕彰碑の設置について
・地域公共交通について

黒川 養護老人ホーム成羽長寿園・成羽こども園整備に伴う旧施設の跡地について、基本的には売却の方向で進めると説明を受けたが、特に下原地区にある旧鶴鳴保育園跡については、以前から公園として整備してほしいという地元意見があったと思う。再度検討する余地はあるのか。
市長 基本的には、売却を検討しているが、公園としての活用という地元の要請があることは承知している。今後、地元のご意見を聞かせてもらいながら進めていきたい。
市長 顕彰碑については、いろいろな設置の手法などがあり、今後、ご相談させていただきながら進めていきたい。

市街地のこども園の設置に向けての検討状況は

答弁：平成36年までには完成させたい。基本的には直営という考えがあるが、公設民営も選択肢の一つとして検討している



森和之議員

- ・市街地の浸水被害について
- ・防災マップについて
- ・防災ラジオについて
- ・山田方谷記念館について
- ・市街地のこども園について
- ・ヒルクライムチャレンジシリーズについて

市街地の浸水対策について

森 原田南町、段町、駅前周辺などの浸水被害にどのように対応するのか。

産業経済部長 原田南町の高梁雨水ポンプ場に4号機となるポンプを設置する計画を立てている。(平成33年度に完成予定)このポンプの整備により浸水被害に対応できると考えている。

森 本町、川端町、落合町近似鍛冶屋町地区の浸水被害にどのように対応するのか。

産業経済部長 川端町付近では国道180号が浸水した。国道の側溝の閉塞が原因ではないかと考えられていたが、県の調査では問題はなかった。県からは経過観察を

したいと報告を受けており、引き続き協議しながら対応を考えていきたい。

落合町近似鍛冶屋町地区は、高梁川の水位上昇により排水路から排水ができなかった。豪雨により浸水した地域は複数あり、これらも含めて今後検討していく。

防災マップについて

森 地区によっては非常に見づらいので、見直せないのか。

総務部長 平成31年度は緊急の措置として浸水マップを配布する。見やすいように工夫をしていきたい。

森 浸水マップに被害地区の記載漏れがある。しっかりと調査してほしい。

農家の所得補償制度を創設すべきではないか

答弁：国の既存の制度を活用していただきたい



平松賢司議員

- ・小規模・家族農業を大切に
- する農業振興について

平松 本市の総農家数、家族農家数は現在何戸あるのか。

産業経済部長 本市の農家数は3212戸という現状である。家族農業農家数という統計はないが、農業経営体では1760経営体のうち1733が家族経営体で、全体の98%を占めている。

平松 農業は本市の基幹産業であるが、年々田畑は荒廃している。市の認識を問う。

産業経済部長 「中山間地域等直接支払制度」に基づいて、集落全体で農地を保全している。多面的機能についても、国の制度を活用している。しかし、高齢化により農地の保全が難しくなることがある。農地を集約するあるいは集落営農にする、さらには法人化する

などの取り組みがあり、市として支援している。

平松 市として農家の所得補償制度の創設を計画すべきではないか。

産業経済部長 今年の1月から収入保険制度が始まっており、活用していただきたい。また、農業共済あるいは野菜の価格安定制度なども引き続き実施されている。こういった国の既存の制度を活用して、所得、収入の安定を図っていただきたい。

農地をしゅんせつ土の処分地として活用してはどうか

答弁：貴重な提言をいただいたと思う



三村靖行議員

- ・河川堆積土しゅんせつ事業について
- ・中井簡易水道について

河川堆積土しゅんせつ事業について

三村 河川堆積土しゅんせつ事業を県に要望しているのか。

市長 発災直後から河川等に対するしゅんせつを国・県に度々要望した。国の第2次補正予算においてしゅんせつの予算が県に対して配分されたので、改めてしゅんせつについてスピードを上げてほしいと要望している。県道の改良や河川の堤防を上げるなどの要望も考えているので、引き続き県や国に対して強く活動していきたい。

三村 土地改良事業の圃場整備事業として、河川から近い農地をしゅんせつ土の処分地として活用してはどうか。

市長 1つの方法だとは考えている。河川沿いの農地に残土を処分した場合、さまざまな問題もある。その中で一番大きいのが地元の方の意向なので、対象となる地域のお話を伺う準備をしている。貴重な提言をいただいたと思う。

中井簡易水道について

三村 中井簡易水道には石灰分が多く含まれており、水道機器などに不具合が生じている。この対策にどう取り組むのか。

産業経済部長 水質基準はクリアしているのですが具体的な対応はしていません。申しわけなく思っています。今後機器の故障を回避するため、メーカー対応も含めて市としてもさらに調査研究していく。

コミュニティ・スクールを導入する目的は

答弁：学校と地域が意見を共有できるようにして学校運営に当たることができるようにするために導入しようとしている



伊藤泰樹議員

- ・市政の見える化について
- ・災害廃棄物の処理の現状と今後について
- ・有害鳥獣被害防止対策事業の現状と課題について
- ・「夢のある教育を」について

市政の見える化について

伊藤 公共施設災害の復旧状況を市民に知らせるべきではないか。

市長 ホームページや掲示板で公表していると思う。

梅雨に入るまでの時期で、特に浸水被害や大規模な地すべり被害が発生したところに再度出向いて状況を説明しようと思っている。

伊藤 市民と行政が建設的に意見交換できるホームページに刷新はできないか。

市長 リニューアルは必要なことであると考えている。

家屋の公費解体について

伊藤 家屋の公費解体の申請締め切りを前に、聞き取りをしている

のか。政策監 申請者の相談に小まめに応じながら対応していく。

有害鳥獣被害防止対策事業について

伊藤 有害鳥獣対策室の取り組みと成果はどうなのか。

産業経済部長 市では最重要課題として位置づけ、防護、捕獲、駆除を3つの柱として取り組みを進めてきた。また、狩猟の講習、免許取得にも力を入れ、制度も拡充してきた。その結果、被害額および被害面積が年々減少してきている。

幼児教育の無償化が実施された後で保護者の皆様が混乱しないよう早目の周知と説明を求める

答弁：対象の保護者の皆様が混乱しないよう新年度早期に周知徹底を図る



川上博司議員

ここをききました

- ・SDGsについて
- ・幼児教育・保育の無償化について
- ・上水道施設と簡易水道施設の浸水対策について

SDGsについて

川上 SDGsは2015年に国連で合意した貧困や格差、環境保全、教育、平和などの課題解決に向けた17の目標である。内閣府では地方公共団体によるSDGsの達成に向けた取組みが地方創生の実現に資するものであるため、その推進に向けSDGsモデルの構築を進めている。SDGsに対する



地方創生に向けた自治体SDGs推進事業に関するリーフレット (内閣府提供)

市長の認識はどうか。

市長 市の総合計画においても、3つの基本理念を定めて、「ひと・まち・自然にやさしい高梁」のまちづくりを進めている。計画ではSDGsの17の目標にも取り組んでいる。次期総合計画策定においてもSDGsの「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すといった基本理念を注視して取り組んでいく。

個人情報をどのように定義しているのか

答弁：市の条例では氏名、生年月日、その他の記述により特定の個人を識別できるもの、また個人識別符号が含まれるものと規定している



森上昌生議員

ここをききました

- ・平成30年7月豪雨災害における成羽町新張地区の浸水被害について
- ・個人情報の取り扱いについて
- ・駅前複合施設完成後の市民生活への各種効果の検証について

新張地区の浸水被害について

森上 ポンプが更新されるが、どのような変更点があるのか。

産業経済部長 駆動エンジンが水冷式から空冷式になり、操作盤等も操作しやすくなる。

森上 排水ポンプの不具合について、地域住民に対する情報伝達が不十分だったと聞くが。

市民生活部長 排水作業ができなかったことの情報伝達が不十分だったことは、反省点と考える。今後は地域住民の協力を得ながら体制を整えたい。

個人情報の取り扱いについて

森上 Tポイントカードの情報は商品として扱われているものだが、

森上 以前にも確認したが、図書館利用者や複合施設利用者を区別して集計しないのか。

教育次長 図書館と複合施設は異なる目的で利用されているので区別の必要がないと考えている。

駅前複合施設完成後の市民生活への効果の検証について

が、市民の多くはそういう理解はないと考える。こうした商行為が図書館という教育施設で行われていることを、市長はどう考えるか。

市長 Tポイント以外にも皆さん使われているが、扱いについては同様である。また、Tポイント付きの利用者カードの選択は個人の判断によるものであるので、ここで申し上げるものではない。

消費税増税の影響は

答弁：国民健康保険税には影響はないが、上下水道料金、学校給食費、高梁市図書館の指定管理料には影響する



石部誠議員

ここをききました

- ・平成30年7月豪雨災害はなぜ防げなかったのか
- ・消費税増税が市民に及ぼす影響と対策について
- ・税金の差し押さえについて
- ・高梁市図書館について

災害復旧について

石部 市の説明会がなかなか開かれないが、まず災害を受けた地域で懇談会を開き、市民の皆さんの話を聞き、一緒に痛みを共有しながら復興計画を作らなければならないと考えるがどうか。

副市長 国や県が大きな権限を持つているので、国、県との調整ができないと会を開いても意味のあるものにはならないと判断している。

市長 次の出水期までに説明に行くつもりである。

石部 ダムの事前放流や河川改修、陸間や水門の適切な管理、詳細なハザードマップがあれば、災害を防ぐことができていたのではないか。

健康福祉部長 国民健康保険税は現行税率を維持する。

産業経済部長 水道料金は消費税増税分、基本料金を引き上げる。

教育次長 給食費は値上げする。

副市長 国の政策であり、増税により地方交付税が増えるので、市民生活に良い影響もある。

消費税増税の影響は

石部 10月の消費税増税への対策と対応は。市民負担が増えないようにしてもらいたい。



議会広報公聴特別委員会

平成31年2月5日～2月6日  
訪問地：埼玉県大里郡寄居町・京都府相楽郡精華町

寄居町議会の議会広報誌は、2年連続で町村議会広報全国コンクール最優秀賞を受賞している。紙面が充実している大きな要素として、議会として執行部に提言していく取り組みが上げられる。全議員協議会を月例化し、徹底的に議員間討議を重ね、個々の議員の主義主張を超えて議会としての合意形成を図る活動が、毎月20ページを超える充実した内容を支えていると感じた。議会からの提言は決算認定の後に取りまとめられ、次年度予算編成の前に執行部に届けていた。

精華町議会では、各種団体向けの報告会やワールドカフェ方式での意見交換会を行っている。近年の議会報告会の傾向でもあるが、議会からの報告よりも意見交換会に重点が置かれていた。また、意見交換会で行ってきたことをどのように集約するか、また、議会としてそれをどう執行部に伝えて町政に反映するかということに取り組んでいた。



寄居町での視察



精華町での視察

6月の定例会スケジュール

5/31	金	本会議（議案の上程）
6/5	水	本会議（一般質問）
6/6	木	本会議（一般質問）
6/7	金	本会議（一般質問）
6/13	木	本会議（議案質疑）
6/14	金	委員会
6/17	月	委員会
6/18	火	委員会
6/21	金	採決

※6月定例会への請願のしめ切りは  
5月23日までです  
※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！  
有権者が求めることも  
禁止されています！**

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

- |      |     |      |     |      |      |      |      |            |
|------|-----|------|-----|------|------|------|------|------------|
| 委員   | 委員  | 委員   | 委員  | 委員   | 委員   | 副委員長 | 委員長  | 議会広報聴特別委員会 |
| 伊藤泰樹 | 森和之 | 森上昌生 | 石部誠 | 宮田好夫 | 川上博司 | 石井聡美 | 石田芳生 |            |

Topics? ああ議論はどうなった?

「まちけん」がアニメ制作を発表

イタリア × 日本の国際的な合同作品

3月28日に、栄町にあるアニメ制作スタジオ「株式会社備中高梁まちづくり研究所」(※通称「まちけん」)は、吉備国際大学国際交流会館でイタリアのスタジオとの合同アニメ「深紅」SHINKU(仮)の制作発表会を開催しました。

本作は、人形をコマ撮りしていくパペットアニメーションと、紙に描いた2Dアニメーションを組み合わせた作品です。会場ではショートバージョンの「RED HANDS」が上映されました。「深紅」の完成は2年後の予定です。

※「まちけん」は地方創生予算を活用して学園文化都市づくり事業として約4000万円をかけて整備されました。

会場では短編映画「RED HANDS」が上映された



(c)Sattva Film 2018

5月号の表紙について

今回の議会だよりの表紙は備中町にある富家小学校です。富家小学校は平成30年7月豪雨で体育館とグラウンドが被災しました。体育館は床の全面張り替えを行いました。この春には、無事5人の新入生を迎えることができました。



被災した体育館



平成31年度入学式

編集後記

災害関連のさまざまな予算が計上された平成31年度予算を審議する3月定例会も終わり、なかなか来ない春の訪れを待っている間に、新元号「令和」が発表されました。この議会だよりがお手元に届いているころには、すでに令和が始まっているのかと思うと、大きな時代の変化に感慨深いものを感じます。議会だよりも、いっそう読みやすく、市民の皆様が議会を身近に感じていただけるよう工夫していくつもりです。ご意見、ご感想などお待ちしております。(石井聡美)